



第 30 回総会での決定事項

第 30 回日本脳神経超音波学会総会(2011 年 7 月 7～9 日、長崎市長崎ブリックホール)が、長崎大学医学部脳神経外科 教授 永田泉会長のもとで開催されました。

以下は、この総会におけるおもな決議・承認事項です。

理事会・評議員会・総会

承認事項

- ・平成 22 年度収支決算・事業報告
- ・平成 23 年度予算案・事業計画
- ・平成 23 年度総会での本学会法人化
- ・他各委員会報告の承認

役員候補選出委員会 報告

次々々期(2014 年)第 33 回日本脳神経超音波学会会長の選出

寺山 靖夫 理事 (岩手医科大学 神経内科 教授)

次期 編集委員長(2012 年 1 月 1 日より)

藤代 健太郎 理事 (東邦大学 教育開発室 教授)

新名誉会員の承認(第 30 回総会承認後より)

重森 稔 理事 (理事退任に伴う推薦)

在り方委員会 報告

法人化について

平成 23 年度総会での本学会法人化を承認した。

法人化委員会議論内容について承認した。

資格認定について

総会と資格試験の分離の可能性を承認した。

事務業務の外部委託を承認した。

学会活性化について

会員増加の方策、国際活動の活発化、他学会との連携強化を今後も推進することを確認した。

資格認定委員会 報告

1)第 3 回一般認定試験合格者承認

合否判定委員会にて決定された、受験者 31 名中 28 名の試験合格者を承認し、認定脳神経超音波検査士として認定した。



2)第4回一般認定試験の開催日時・場所の決定

第31回日本脳神経超音波学会総会 市橋光 会長同席のもと、総会前日の2012年6月28日(木)に、筆記試験と実技試験を従来と同様の形式で、大宮ソニックシティにおいて開催することが決定した。

なお、開催前に、実技試験用超音波機器メーカー担当者、第31回日本脳神経超音波学会事務局との打合会を開催することも了承された。

3)筆記試験委員長後任、他について

現筆記試験委員長である藤代健太郎委員が、編集委員長就任に伴い筆記試験委員長を辞退され、後任として高瀬憲作委員が新筆記試験委員長に就任、また、合否判定委員として参加されることが了承された。

編集委員会 報告

今後の刊行事業について

・神経超音波用語集の刊行について

Neurosonology 通常号にCD-Rをつけた形で出版し、一般への販売を考慮し増刷することとする。

1,000部+ α を印刷し、価格は1,000円の特別定価をつける(1部は会員に無料で配布)。

追加希望は、会員、非会員の区別無く一律1,000円とする。

CD-Rの添付、IMEやATOK対応の変換辞書、ファイルメーカー等の用語集閲覧ソフト、記事を同封する。

2012年早々に刊行する。

・編集委員交代について

杉原 浩 先生から編集委員辞任の申し出があり、了承した。

後任として卜部 貴夫 准教授(順天堂大学 浦安病院)に用語集編集担当を依頼した。

次期編集委員長選出

前出

Neurosonology 2010年度 優秀論文賞受賞者

富井 康宏 先生 国立循環器病研究センター 内科脳血管部門 (※現:京都府立医科大学 神経内科)

「超音波装置を用いた嚥下動態評価:Tongue and Oral Function test with Ultrasonography (TOFU)

A Dynamic Imaging for Swallowing Study with Ultrasound System」

富井康宏、上原敏志、鳥居孝子、松岡秀樹、豊田一則、峰松一夫

(Neurosonology 23: 5 - 8)

法人化委員会 報告

法人化について

平成23年度総会にて本学会の法人化を提議することを確認・承認した。

法人化後の組織(案)と今後のスケジュール(案)について確認・承認をした。

定款案、規則案等の確認をし、今後さらに広く議論することとなった。